

[カー用品専科・月刊誌]

いまの狙い目はずばり、ココ!
[カーグッズマガジン]



2022
9

September
定価 660 yen
(税込)

2022年7月15日発売
(毎月17日発売)

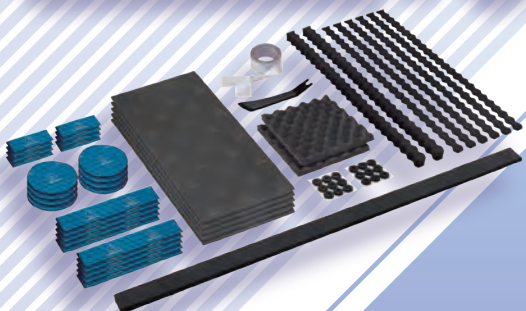
Car Goods Magazine

www.cargoodsmagazine.co.jp

進化と拡充。旬のコンビネーション

特集 ▶ 音と映像を制御せよ!

CarAV ADVANCE



欲しいものが すぐ 届く。

[2022年・夏]
主要銘柄セレクション

EngineOil MASTER 型録

Pick Up
8月2日は
オートパーツの日!

CarGear FRONTLINE



販売現場
直送便!



本体は純正ミラーにバンド(大・小)で固定するため装着車両の自由度は高い。またカメラ部分はスライドして天地左右に稼働するため、カメラアングルも調整可能。リヤカメラは車内装着のほか防水設計が施されるため車外にも取り付け可能。リヤガラスの形状やプライバシーガラスなど、装着車両に合わせた取り付け方法を選択できる。



BAL
BALUCE II
No.5700

価格：オープン
(実勢価格：3万2800円前後)

[SPEC]
フロントカメラ：200万画素フルHD
リヤカメラ：200万画素フルHD
ディスプレイ：10.88V型

高画質は撮るだけじゃもったいない！
よりクリアな後方視界もGet

よりクリアな映像は
ミラー液晶ディスプレイで

ドラレコの普及とともに劇的に進化したマイクロカメラ技術。その進化は具体的にいえば「何となく映っている」程度から「よりクリアに、夜間も明るく」と大幅な高画質化が図られている。そんなカメラ技術だけに、普段から活用したくなるのは正しい判断といえるだろう。そこで注目したいのがデジタルインナーミラーという選択肢である。

デジタルインナーミラーとドラレコを1つにまとめたアイテムとして、第三世代に進化したのは大橋産業のバルーチエII。従来モデルからの進化ポイントは10.88V型液晶モニター。これまで9.7型だったモニターを大



もちろん本体での視聴だけでなく、ビューワーソフトを活用すればGPS信号による走行軌跡やGセンサーの状態、さらに速度なども確認できる。

型化したことでより見やすくなっているのだ。もちろんモニターサイズだけでなく、以前は前後にSTARVISを採用していたが、本機ではリヤカメラにBAL独自の技術「LAVIS TA」を採用。後続車のヘッドライトによるハレーションを抑え、より見やすく鮮明な映像を表示/記録できるようにになっているのだ。もちろんドラレコとして重要な白トビなどを抑えるHDRも採用するため、あらゆる環境下での高画質を約束してくれる。

ユーティリティに関してチェックすると、モニターはタッチ/フリック操作が可能なタッチパネルを採用し、

ドラレコ進化のポイント



前後200万画素のフルHD画質はドラレコとして十分なスペック。撮影画角もワイドで周辺状況を余すことなく記録できるため安心感も高いはず。



昼間だけでなく特に夜間の撮影能力は見どころ。フロントにはSTARVIS、リアにはLAVISTAを搭載し、街灯がないような道でもクリアな映像を記録してくれる。特にリアは通常のミラーでは見えないような暗闇でも、周辺状況が把握できるほどの映像を表示してくれるため、安全運転サポートにも効果的。



地デジ電波との干渉を抑える設計は、VCCIクラスBに適合する優れたもの。通常のクラスAよりもさらに厳密な条件をクリアすることで、より快適な車内環境を整えているというわけだ。

と見えるだろう。アナ地デジライフが楽しめるという。そこでブルーチェIIでは、VCCIクラスBに適合するノイズ低減設計が行われている。車内を快適に楽しみたい人にとって必見の進化ポイントといえるだろう。

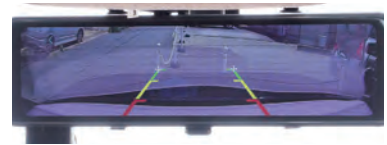
デジタルミラー進化のポイント



キースwitchは本体下部にある電源(モード切替)ボタンのみ。そのほかの操作は全てタッチパネルで行うため直感的な操作が可能になる。



リヤカメラの映像だけでなくフロントカメラの映像、そしてフロント/リアの2画面表示など、タッチパネルの操作で簡単に行うことができる。



リバース信号を接続すれば、バック時にガイド線を表示することができる。このガイド線は幅や傾きなども調整できるため、愛車に合わせてジャストフィットさせることも可能だ。

×
1倍



×
10倍



×
20倍



通常はドラレコ映像と同様に広角撮影した映像が表示されるが、ズーム機能を活用することで1倍~20倍まで1倍ずつ拡大していくことができる。この機能を活用すれば、通常のミラーと同様のアングルを作り出したり、後方が気になった時などにも活躍してくれるはずだ。

さらにリヤカメラの映像は上下にスライド調整が可能。ドラレコの映像は広く撮影しながらデジタルインナーミラーの視界は狙った位置にすることが可能。また、リヤカメラにはズーム機能を搭載し、×1~20倍の倍率で調整できるギミックも搭載。後続車をチェックしたい時など、このズーム機能が大いに役立つ。ミラー型液晶ディスプレイは後続車からも確認でき、あまり運転抑止にもつながるはずだ。